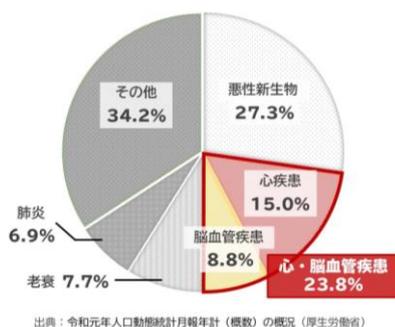


急増する心不全と向き合う

心不全パンデミック時代の到来

超高齢化社会を迎える日本では、心不全患者の増加が深刻な問題となっています。心不全を含む循環器疾患の死亡者数は、がんに次ぐ第2位と非常に多く、今後さらに急増することが予測されています。動脈硬化、不整脈、弁膜症、心筋症、高血圧症等、あらゆる疾患が原因で心不全状態になります。また、高齢者は併存疾患が多く、心不全管理のみならず生活を支えるという視点から高齢心不全患者が有するさまざまな病態に対応した個別的対応が必要となります。

主な死因別死亡数（令和元年）



【高齢心不全患者が有する併存疾患と予後規定因子】 「地域のかかりつけ医と多職種のための心不全診療ガイドブック」より

高齢者特有の併存疾患	感染症、貧血、腎不全、脳梗塞、認知症、骨折や関節症などによるロコモティブ症候群、甲状腺疾患、閉塞性肺疾患
心臓要因	心肥大（高血圧心）、心筋虚血、不整脈など
薬物要因	抗不整脈薬、非ステロイド性解熱鎮痛薬など
医療要因	過剰輸液や輸血など
生活要因	塩分水分過剰摂取、肥満、服薬アドヒアランス不良、運動過多・不動、ストレスなど

多職種チームで患者さんを支えます

治療	原因疾患の治療	カテーテル治療、外科手術など
	薬物療法	利尿薬、降圧剤、強心薬など
	食事療法	主に減塩、水分制限
	運動療法	心臓リハビリテーション
	呼吸補助療法	酸素投与など
	患者指導	食事や内服、運動の問題も専門職種が対応
	多職種連携	多職種で協力して患者さんの治療に
	退院支援	退院後の生活を見据えた支援



心不全教育入院について

心不全は一度発症すると何度も再発し、そのたびに身体機能が低下するため、まずは心不全を発症しないようにすること、また心不全になったことのある患者さんにおいては再発しないように努めることが極めて重要となります。

心不全発症・再発予防には、まず患者さん自身に心不全についてよく知っていただくことが重要です。症状をコントロールしながら、日常生活で注意すること、やるべきことを理解し実践していただくための心不全教育入院も受入しておりますので、お気軽にご紹介ください。

循環器内科
ひつもと たつろう
櫃本 竜郎 医師

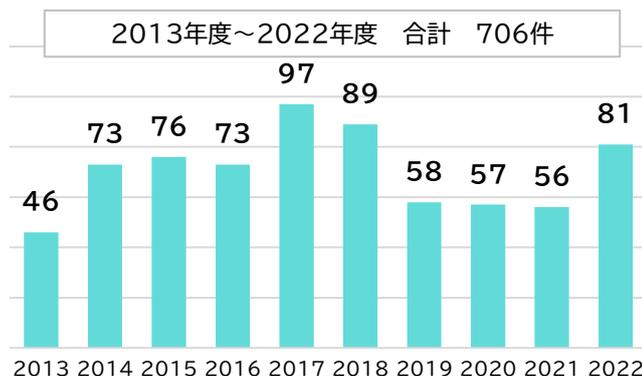
■専門分野
循環器内科

■専門医
循環器専門医
総合内科専門医



当院では心不全に限らず、虚血性心疾患、不整脈、下肢閉塞性動脈硬化症等の循環器疾患に対応いたしますので、お気軽にご紹介いただければと思います。
多疾患を抱える高齢患者さまに対して、院内はもとより地域の先生方とも協力してサポートできる体制を整えてまいりたいと思います。

経皮的冠動脈インターベンション (PCI)



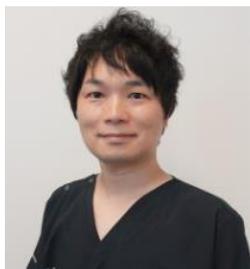
医師紹介



副院長/循環器内科部長
心・脳血管疾患センター長

伊藤 彰 いたう あきら

2023年4月から中辻先生が加わり、8月からは櫃本先生が赴任して総勢4名となりました。これまで以上に救急対応が迅速となり、充実した診療が可能となっています。四国中央市で緊急カテ、PCIができるのはHITO病院だけですので、いつでもご相談いただければ幸いです。



循環器内科 医長

櫃本 竜郎 ひつもと たつろう

2023年8月より入職しました循環器内科医師の櫃本竜郎と申します。ここ数年は大阪の国立循環器病研究センターなどで心不全を中心に勉強し、この度ホームグラウンドである愛媛に戻ってまいりました。急性冠症候群や急性心不全の対応はもちろんのこと、年々深刻化する高齢化社会を見据え、慢性期医療に精一杯尽力する所存でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。



循環器内科 医師

志村 拓哉 しむら たくや

2022年4月に赴任しました。急性心筋梗塞や心不全など急性期から慢性期疾患まで幅広く診療を行っています。治療に難渋する症例などありましたらお気軽にご紹介ください。四国中央市の循環器診療を支えていけるよう頑張ります。



循環器内科 医師

中辻 孝太 なかつじ こうた

2023年4月より赴任して参りました。これまでは大阪で心筋梗塞・心不全・不整脈など循環器疾患全般を診療してきました。患者様の人生の一部に携わることができる喜びを感じつつ、日々精進して参ります。

予 約

【受付時間】

月～金 / 8:30～17:00

土 / 8:30～12:00

※毎月第2・4・5土曜日は休診

SC (サポートセンター)
お問い合わせ電話番号

0570-035320